

倫理

選択必修科目1年

レポート提出回数 **6** 単位数 **2**

(002東書・倫理017・倫理)

必要面接時数 **2**

1. 学習の到達目標と取り組み

目標	人間尊重の精神に基づいて、青年期における自己形成と人間としての在り方・生き方について理解と思索を深める。また、生きる主体としての自己の確立をめざし、良識ある公民として必要な能力と態度を身につける。
目標に向けての具体的な取り組み	倫理の基本的な問題と人間にかかわる課題を自己の問題・課題として考察することができるように、現代社会における具体的な倫理的課題を適宜取り上げながら実施する。

2. 年間学習計画と評価方法

月	内容のまとめ(章)	主な学習目標と学習活動	単元・題材	レポート		スクーリング	Aテスト日と範囲	評価方法
				回数	期限			
4月	第1章 青年期の課題と自己形成	・倫理学習の意味 ・自らの体験や悩みを振り返ることを通して、青年期の意義と課題を理解し、豊かな自己形成に向けて、他者と共に生きる自己の生き方について考える。	※倫理の授業について(はじめに) ①青年期の意義 1 人間とは何か 2 青年期の位置づけ 3 青年期の特徴 ②青年期の課題と生き方 1 主体性の確立 2 自己理解 3 幸福と生きがい	第1回 p 1～45	5/1	4/29	第1回 7/1	レポート・面接授業・テストを通して、評価する。
5月	第2章	・人生における哲学、宗教、芸術のもつ意義などについて理解し、人間の存在や価値にかかわる基本的な課題を探究することを通して、人間としての在り方・生き方について考えを深める。	①哲学と人間 1 哲学すること 2 ギリシアの思想 3 中国の思想 ②宗教と人間 1 宗教をどう考えるか 2 キリスト教 3 イスラーム 4 仏教 ③芸術と人間 1 美しいものへの感動 2 芸術の意義	第2回 p 46～68	6/19	5/20	レポート No.1～2 教科書 P1～68	
6月	人間としての自覚	・今までの学習に対する取り組みや理解度の振り返りをする。						
8月	第3章	・日本人に見られる人間観、自然観、宗教観などの特質について、わが国の風土や伝統、外来思想の受容について触れながら、自己とのかかわりを通して理解し、国際社会に生きる主体性のある日本人としての在り方・生き方について自覚を深める。	①日本人の精神風土 1 日本人のものの考え方 2 日本人の宗教観 3 日本人の倫理観 ②外来思想と日本の伝統思想 1 仏教と日本人の思想形成 2 儒教の日本的展開 ③西洋思想と日本人の近代化 1 近代への啓蒙 2 近代的な自己の確立 3 創造的な思想 ④国際社会に生きる日本人の自覚 1 戦後思想の動向 2 国際社会での日本人	第3回 p 69～98	8/7	8/5	第2回 10/21	
9月	国際社会に生きる日本人の自覚	・今までの学習に対する取り組みや理解度の振り返りをする。					レポート No.3～4 教科書 P69～118	
10月				第4回 p 99～118	9/18	9/16		
11月								
12月	第4章	・現代の倫理的課題を大局的にとらえ、今日に生きる人間の課題について理解する。	①わたしたちの「いま」 ②人間の尊厳 1 人間尊重へ向けて 2 合理的精神の確立 3 社会契約説 4 人格の尊厳ーカント ③民主社会の倫理 1 ヘーゲルの人倫の思想 2 功利主義 3 社会主義思想 ④新たな人間像の模索 1 主体性の回復をもとめて 2 現代の実存哲学 3 フランクフルト学派 4 構造主義	第5回 p 119～162	12/4	12/2	第3回 2/17	レポート・面接授業・テストを通して、評価する。
1月	現代を生きる人間の倫理	・人間の尊厳と生命への畏怖、自然や科学技術と人間とのかかわり、民主社会における人間の在り方、社会参加と奉仕、自己実現と幸福などについて、倫理的な見方や考え方を身に付け、他者と共に生きる自己の課題として考えを深める。	⑤自然や科学技術と人間のかかわり 1 近代的自然観 2 自然との調和 ⑥民主社会の成熟のために 1 差別と偏見のない社会 2 社会参加と奉仕	第6回 p 163～202	1/15	1/13	レポート No.5～6 教科書 P119～202	
2月	第5章 現代の課題を考える	・生命、環境、家族、地域社会、情報社会、世界のさまざまな文化の理解、人類の福祉など、それぞれにおける倫理的課題を、自己の課題とつなげ、現代に生きる人間としての在り方・生き方について自覚を深める。 ・今までの学習に対する取り組みや理解度の振り返りをする。	①生命倫理 ②環境と環境倫理 ③変容する家族 ④情報社会の中の人間 ⑤グローバル化する社会の中の人間 ⑥豊かな社会とは何か					

3. 評価の観点

評価の観点	観 点 の 内 容
関心・意欲・態度	現代社会と自己の関わりについて、意欲的に探求する態度を身につけているか。
思考・判断	現代社会の諸事象、人間の存在や価値などについて考察しているか。主体的かつ公正に判断できるか。
資料活用の技能・表現	資料を収集活用し、考察結果を適切に表現できるか。
知識・理解	現代社会や人間の生き方についての基本的な知識を身につけているか。